

自宅で出来る炭酸ガス半減 要旨メモ

平成 28 年(2016)3 月 26 日(土) 第 33 回縮小社会研究会 講演会

於 京都大学 文学部新棟 第 3 講義室

縮小社会研究会 会員「地球に謙虚に運動」代表他 仲津 英治

1. 存在の原点はエネルギーと食糧 ——地産地消が基本——
2. 歴史に学ぶ 二つのポリネシア系人の対照的な軌跡
イースター島の悲劇と台湾蘭嶼島の持続社会
3. 日本の実践：里山資本主義地産地消と自給自足（江戸時代は貴重な実践礼）
地球以外に人類の存続できる星は無い；自然社会との共存
4. 政府、企業に要求するだけではなく自ら実践すること
5. 自宅でできる持続社会への実践；創エネと省エネ・省資源
地域の方から食料を購入、生ゴミの堆肥化と野菜プランター
5. 創エネその 1
太陽光発電装置の設置もしくは太陽光発電装置付家の購入
5-1 太陽光発電の実績；自宅消費と売電
5-2 電気は何にでも転換できる最高の精密エネルギー、
熱はエネルギーの墓場： 電気を熱に変える使い方は一番もったいない
エアコン控え、電気ポットの不使用& 省エネ家電；①冷蔵庫 ②洗濯機 ③テレビ
5-3 自然エネルギー固定価格制度の効果
6. 創エネその 2
6-1 お湯はお風呂で最大量使用(バスタブ 120~150 リッター)
6-2 太陽熱温水器（容量 300L）；夏場で 70 度℃、冬場で 30 度℃のお湯を供給
6-3 灯油に切替え；給湯ボイラー、石油ストーブ（暖房、給湯、調理兼用）
7. 省エネ・省資源
7-1 まず電気；年中使う冷蔵庫、次いで洗濯機&テレビの省エネ化
新型省エネ冷蔵庫（3 分の 1 の電気代）→7 年で回収
7-2 室内温度；夏場は 28 度℃ 冬場は 18 度℃
8. 移動エネルギー；なるべく電車、マイカーはできるだけ控える⇒省エネ・省資源&安全
9. 我が家の炭酸ガス発生量 一般平均家庭の半分
我家 2011 年 2,500kg 平均家庭 2011 年 5,060kg
10. オイルピークと備え
10-1 IEA（世界エネルギー機関）の推定；2005~2006 年頃石油生産はピーク
中長期的には石油価格は高騰
10-2 里山エネルギーの活用⇒木製ペレット
ただし限界あり；せいぜい現在エネルギー消費の 2%
10-3 エネルギー資源の多様化； 水力、バイオマス、太陽光&太陽熱、地熱など
11. エネルギー消費の原点 家庭 以上